

淡水魚増殖試験

チャネルキャットフィッシュ養成試験

山根恭道

前年度に引き続き養成試験を行なったので報告する。

材 料 と 方 法

親魚は成熟していると思われるものを選別し、各飼育池に雄 1 尾、雌 2 尾を収容した。

飼育池は $3 \times 2 \times 0.6m$ のコンクリート池を使用し、各池の一角に産卵巣を造成した。また竹巢により遮光し、注、排水口には 2mm 目のネットを取付け害敵の侵入と稚魚の逃亡を防止した。

結 果 と 考 察

産卵親魚を産卵池に 8 月 16 日から 9 月 8 日まで収容し飼育したが、産卵行動を行わず卵を得ることができなかった。